

# 令和5年度 事業計画案

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

コロナ禍 新型コロナウイルス感染症の終息が見えてきましたが、ロシアのウクライナ侵攻や円安等が物価高をもたらし、価格高騰等の影響はさらに大きくなっていくものと予想されます。

また近年、頻発化、激甚化している豪雨や台風、地震等の災害で家屋に甚大な被害をもたらしています。巨大地震が将来発生することも想定されており、より一層の事前防災・減災の重要性が増しています。

このような状況の中で（一社）全瓦連では、災害時の対応等安心・安全を守る「屋根の守り手」として、住まい手と共に豊かで持続可能な社会生活基盤づくりを果たしていかなくてはなりません。そして、社会的使命を担う私たちは、健全でサステイナブルな経営を続ける必要があると考えます。そのためには私たち（一社）全瓦連は2委員会および災害対策・危機管理室の事業計画の一つひとつを着実に遂行し、実現化することが求められます。鈴木理事長体制の2年目として、さらなる事業運営の深化と瓦の復権を推し進めるべく、理事各位が個々の能力を発揮する事業運営を展開してまいります。

## 事業計画

### 指導・PR委員会

#### 【指導関係】

1. 改訂瓦ガイドライン工法追加講習会の開催
2. 外部への改訂ガイドラインの周知徹底
3. 安スト事業陳情推進活動
4. 空家対策関連の情報収集
5. 構成員の拡大事業

#### 【PR関係】

1. PRグッズのリニューアル及び販売
2. PR大賞実施方法の検討
3. PR冊子の改訂・新作の検討
4. ユネスコ登録の推進
5. 瓦屋根修理メンテナンスのPR方法の検討

### 技術・安全委員会

#### 【技術関係】

1. 改訂ガイドラインに関する、例示工法や使用材料の調査公表
2. ガイドライン工法人工積算シートの啓発
3. 国交省及び各種行政団体への協力

### 【安全関係】

1. 各種保険制度の加入促進
2. 労働災害撲滅に関する啓発活動
3. 全瓦連カレンダーの作成と新しい企画の検討

### 災害対策・危機管理室

#### 【災害対策】

1. 災害発生時の対応マニュアルに基づくヒアリング
2. 一定規模以上の台風、地震発生時に調査チームの派遣
3. (仮)「2021年、2022年福島沖地震報告」の作成
4. 全瓦連HPを通じて、被害情報の適時発信や報告書、事例の情報発信

#### 【SDGs】

1. 全瓦連講習会を通して会員の意識の向上、人材育成を目指して活動（二委員会連携）

### プロジェクト

1. 国立研究開発法人 建築研究所 実大強風雨発生装置屋根風圧係数・瓦飛散実験  
共同研究参画（3か年計画の2年目）